

業 績 書

No. 1

20 年 月 日現在

氏 名	学 位			
	取得年月	年 月	年 月	年 月
	授与機関名			

項目別	西暦 年 月	論 文 ・ 著 述 ・ そ の 他

*学位欄に学士は記入不要です。

学校法人 同 志 社

記入例

業 績 書

No. 1

「〇△学修士」「修士(〇△学)」の2
パターンの表記があります。取得し
た学位を正確に記載してください。
(博士も同じです)

業績書作成日

2016年11月7日現在

氏 名 今 出 川 太 郎	学 位	修士 (法学)	博士 (法学)	Ph. D.
	取得年月	1993年 3月	2011年 3月	2015年6月
	授与機関名	同志社大学	同志社大学	コロンビア大学

項目別	西暦 年 月	論 文 ・ 著 述 ・ そ の 他
修士論文	1993 3	論文名 例：「論文名」●●大学修士論文 ※英語表記の場合は“論文名”
博士論文	2015 6	論文名 例：「論文名」●●大学博士論文 ※英語表記の場合は“論文名”
著書 (単行本) 著書 (単著)	2016 5	書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集, 講座, 叢書, 双書等)の1冊である場合)、著者名、総ページ数等 例：『書名』(発行所名)、著者名(本人)、全●●頁 例：“書名”, 発行所名, 著者名(本人), ●●pages ※英語表記の場合 著者が1名の場合のみが該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に記載された著者が複数いる場合には、共著に分類してください。
著書 (共著)		書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集, 講座, 叢書, 双書等)の1冊である場合)、著者名、(総ページ数)、本人担当部分等 例：『書名』(発行所名) 共著者または監修者名等 *担当執筆箇所「第●●章 タイトル●●」(pp. ●●~●●) 例：“書名”, 発行所名, 共著者または監修者名等 *担当執筆箇所 第●●章, タイトル●●, pp. ●●~●● ※英語表記の場合 著者が複数の場合が該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に記載された著者が複数いる場合には、共著に分類してください。 共著の場合は、原則として本人を含めて共著者名をすべて記載し、本人担当部分が明確になるように(担当部分の章、節、題名、掲載ページ等)記載すること。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他○名とすることも可。
学術論文		論文名、著者名、掲載誌名、巻・号、掲載ページ等 学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものを記入すること。 単著の場合 例：「論文名」、著者名(本人)、『掲載誌名』巻・号、 pp. ●●~●● 例：“論文名”, 著者名(本人), 掲載誌名(巻・号), pp. ●●~●● ※英語表記の場合 共著の場合 例：「論文名」、著者名(共著者・本人の氏名を掲載順に)、 『掲載誌名』巻・号、pp. ●●~●● 例：“論文名”, 著者名(共著者・本人の氏名を掲載順に), , 掲載誌名(巻・号), pp. ●●~●● ※英語表記の場合 共著の場合は、原則として共著者名をすべて記載してください。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他○名△番目とすることも可。

同一項目の中
では、発行年の
古い業績から
新しい業績の順
に記載してくだ
さい。

単著の場合

共著の場合

記入例は2枚目に続きます。

*学位欄に学士は記入不要です。

学校法人 同志社

提出前チェックシート

履歴書・業績書作成後の確認用として適宜、ご利用ください。なお、このシートの提出は不要です。

【履歴書】

- 1 氏名は自署していますか？
- 2 ふりがなの記載漏れはありませんか？
- 3 年齢は、採用予定の日付に対応していますか？
- 4 学歴は、満15歳以降で記載されていますか？
- 5 卒業・修了・退学に記載漏れはありませんか？
- 6 休学期間がある場合、その期間が記載されていますか？

【業績書】

～学位～

- 7 学位名が修士(〇〇学)や△△学修士など正しく記載されていますか？
- 8 学位取得年月日と履歴書の学歴に記載した課程修了の日付が合致していますか？(但し、異なる場合もあります。)

～論文・著述・その他～

- 9 修士論文から記載されていますか？
- 10 項目別に時系列に記載されていますか？
- 11 論文等のページ数を「p」で記載する場合、1ページの場合は、「p.〇」、複数ページの場合「pp.1～10」のように記載されていますか？
- 12 英語表記の場合、論文名や書名を『』で記載していませんか？
- 13 出力した際に文字が正しく表示されていない箇所はありませんか？